

身の回りに起きた出来事など、楽しい情報をお寄せください。
●役場企画財政課 (☎611-2724)

※広報紙に掲載した写真を提供しています。希望する方は企画財政課へお問い合わせください。



小野田選手(7番)とサッカーを楽しむ参加者ら

稲垣遼稀君(矢巾東小2年)は「シュートを決めたり、パスを出し合ったりできて楽しかった。選手にボールを取られないように頑張った」と声を弾ませました。



町国民保養センターで行われた鶴鳥神楽の公演

国民保養センターで行事郷土芸能やサッカー
町国民保養センターで11月、文化やスポーツに関する行事が行われました。11月20日は普代村との交流事業の一環で同村の郷土芸能・鶴鳥神楽の公演が実施され、多くの町民が友好都市の文化を楽しみました。また、当日は同村で町民謡保存会の歌や踊りが披露され、オンラインで町村とつなぎ開催しました。



見守りじぞうを持つ不動小の児童らと紫波地区少年警察ボランティア協会、学校関係者

児童の安全を願って不動小へ見守りじぞうを寄贈
紫波地区少年警察ボランティア協会(高橋正光会長)と紫波警察署は12月9日、不動小へ木を彫った手作りの「見守りじぞう」を寄贈しました。同校を含め紫波郡内の9小学校、学年ごとに1つずつ計54個を寄贈するため、同協会員が制作。町内の協会の昆等さんを中心に、約2カ月半かけて採取した桜の木を一から削り、色を塗って仕上げました。長岡優人さん(6年)は「心配なことは、先生や親にちゃんと相談したい」と話し、寄贈に感謝しました。高橋会長は「見守りじぞうを見て、非行や犯罪の防止について、意識してもらえれば」と話しました。



一つ一つ手作りされた見守りじぞう



岩手県行政書士会と矢巾町との行政手続きに関する連携協定締結
県行政書士会と協定を締結
行政手続きに関する連携
成年後見制度に関する事など、各種行政手続きについて連携します。【写真・左から】協定書を持つ岡田秀治会長と高橋町長



大和財託・企業版ふるさと納税で寄付
藤原社長が本町出身の縁で
町の子どもたちの教育支援のため、1千万円が寄付されました。【写真・左から】目録を受け取る高橋町長と藤原正明社長

協定締結・寄付の受付状況を紹介(12月)



民謡ワークショップで楽器を体験する参加者ら

漆原栄美子さんが指導民謡ワークショップ
民謡ワークショップを11月26日、町公民館で実施しました。町内児童10人が参加。町民謡保存会の漆原栄美子さんから会員4人から、民謡の面白さや奥深さなどを学びました。参加した谷口志菜ちゃん(5)は「初めてだったけど楽しかった。踊りが一番面白い」と話しました。



田園ホールでの公演で、観客席に向けて手を振る紀平さん

紀平凱成さん公演話題のピアニストが来町
各種メディアに取り上げられ注目されている、自閉症のピアニスト・紀平凱成さんの公演が11月20日、田園ホールで行われました。約200人が来場。豊かな感性から解き放つ洗練された演奏で、多くの観客を魅了しました。紀平さんは演奏の合間に手を振るなど、来場者へ感謝を伝えていました。



イルミネーションが飾られた矢幅駅でパトロール車を見送る参加者ら

地域の安全・安心願いのページェント
「光のページェント安心の街灯り2022」のセレモニーが12月1日、矢幅駅で行われました。3千球のイルミネーションが町の玄関口に設置され、1月末まで点灯されます。同日は年末年始地域安全運動の出発式も行われ、参加者がパトロール車を見守りました。※紫波地区地域安全推進協議会など主催